

保健環境研究所だより

もくじ

- ・ 京都府市連携事業「夏休み体験教室－科学の目で見なおそう身の周り」参加者を募集します。 P1
- ・ 蚊が媒介する感染症（2）ジカウイルス感染症（ジカ熱）の話 P2
- ・ 日本でジカ熱を媒介する蚊－ヒトスジシマカの生態と対策 P3
- ・ 京都府保健環境研究所が新しくなります（その1） P4



No. **112**
平成28年6月

☆いろいろなことにチャレンジできる夏休み、身近なところから「保健や環境」について少し考えてみませんか！

京都府市連携事業
「夏休み体験教室－科学の目で見なおそう身の周り」
 参加者を募集します。

○小学生コース

- 対象者** 小学生4年生～6年生
日時 7月29日（金）13：30～16：00
会場 京都府保健環境研究所
 （京都市伏見区村上町395）
- 内容・定員**（応募者多数の場合は抽選）
- ①環境コース 20名
 「持ち運び可能な浄水場
 ～きたない水が大変身～
 ペットボトルで浄水器を作って、きたない水をきれいにする実験を行い、水をきれいにする仕組みについて考えます。
 - ②保健コース 20名
 「固まらないゼリー！？
 ～パイナップルとゼリーの不思議な関係～
 パイナップルとゼリーを用いた実験とだ液の働きを調べる実験を行い、からだの仕組みについて考えます。

手洗い効果の確認
「手洗いウオッチ」



身の周りの水の汚れを測ってみよう！

昨年の様子から

○中学生コース

- 対象者** 中学生
時間 7月29日（金）13：30～16：30
会場 京都市衛生環境研究所
 （京都市中京区壬生東高田町1-20）
- 内容・定員**（応募者多数の場合は抽選）
- ①環境コース [見てみよう空気や水のごぞれ] 20名
 空気や、水の汚れをどうやって調べる？
 - ②食品コース [しらべてみよう食の安全] 15名
 毎日口にする飲み物、食べ物の安全はどう守られているのだろう？
 - ③衛生昆虫コース [身近な昆虫について] 10名
 身近にいる昆虫について知っているようで、意外と知らないことが多い!?
 昆虫のことを学ぼう！

- 申込方法** Eメール又ははがきに住所、氏名、電話番号（日中に連絡のつく番号）、学校名、学年、年齢、希望のコースを記入し、送付してください。
- 申込期間** 7月1日（金）から7月20日（水）まで《必着》
- 申込先・問い合わせ先**
京都府保健環境研究所 庶務課
 〒612-8369 京都市伏見区村上町395
 Eメール：hokanken@pref.kyoto.lg.jp
 電話：075-621-4067
 または
京都市衛生環境研究所 管理課
 〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1-20
 Eメール：eikouken@city.kyoto.lg.jp
 電話：075-312-4942
- その他** 参加費は無料です。
 参加の可否は、締め切り後郵送でお知らせします。

蚊が媒介する感染症（2） ジカウイルス感染症（ジカ熱）の話

今年に入り、中南米におけるジカウイルス感染症が報道されていることをご存じでしょうか。「ジカウイルス感染症」より「ジカ熱」や「小頭症」という方がお分かりになるかも知れません。この感染症は、蚊を媒介してヒトにウイルスを感染させます。一昨年、約70年ぶりに国内流行したデング熱と同じ仲間のウイルスです。これからの季節、蚊の発生に伴い、蚊が媒介する感染症に関する知識をしっかり持ち、適切な予防策を講じることが大切です。

ジカ熱（ジカウイルス感染症）とは？

ジカ熱は、ジカウイルス（Zika virus）の感染によって引き起こされる感染症です。発生地域はアフリカ、中南米、アジア太平洋地域ですが、特に最近では中南米及びその周辺地域で流行しています。ジカウイルスを持った蚊が、ヒトを吸血することで感染します。基本的にヒトからヒトに感染することはありませんが、稀に輸血や性行為により感染することが指摘されています。また、感染したヒトが必ずしも発症するとは限らず、症状を示さなかったり、症状が軽いため気づかないこともあります。

ウイルスを媒介する蚊について

ジカウイルスを媒介する蚊は、ヒトスジシマカやネッタイシマカであることが確認されています。ネッタイシマカは日本に定着していませんが、ヒトスジシマカは、岩手県以南のほとんどの地域に生息しています。ヒトスジシマカについては、後で詳しく紹介することにします。

どのような症状？

ジカウイルスに感染すると、軽度の発熱、発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛などの症状が現れます。その症状は軽く、2～7日続いた後に治り、予後は比較的良好です。しかし、妊娠中の女性が感染すると胎児に感染することがあり、小頭症などの先天性障害を招く可能性があると言われています。今のところ、予防接種（ワクチン）はなく、治療は対症療法しかありません。

国内発生するの？

平成28年4月末現在、国内で感染した症例はありません。今年に入り、国内でジカウイルス感染症の患者は5例確認されており、いずれも流行している海外渡航先で感染し、帰国後発症したものです。

すべての蚊がウイルスを保有しているわけではありません。今後すぐに国内で流行するとは限りませんので、蚊に刺されたことだけで必要以上に心配する必要はありません。海外旅行中などに流行地域で蚊に刺され、心配になった場合は、帰国された際に空港等の検疫所や最寄りの保健所等にご相談することをお勧めします。また、発熱等の症状が認められた場合には、速やかに医療機関を受診するようにお願いします。その際は、海外渡航先や蚊に吸血されたなどの情報を医師にお伝えください。

日本における対応

日本においては、厚生労働省がジカウイルス感染症を感染症法上の4類感染症に指定し、診断した全ての患者を保健所に報告することを医師に義務づけました。さらに、検疫感染症にも指定し、空港等の検疫所で感染が疑われるヒトを確認した場合、ウイルス検査などの監視体制を整えました。

また、日本感染症学会は、ジカウイルス感染症専門医療機関リストを公表し（http://www.kansen.sho.or.jp/mosquito/zika_list.html）、医療体制の整備も行っています。

京都府保健環境研究所における対応

当所では、医師から報告のあったジカウイルス感染症を疑う患者検体（血清など）を速やかに検査する体制を整えました。また、ジカウイルスだけでなく、デングウイルスやチクングニアウイルスなど蚊が媒介するほかのウイルスについても併せて検査できるようにしています。

日本でジカ熱を媒介する蚊—ヒトスジシマカの生態と対策

ヒトスジシマカの生態

日本には、100種類以上の蚊が生息していますが、そのうち、ヒトの血を吸う蚊は10数種類で、さらに、ジカ熱を媒介する蚊となると、ほぼヒトスジシマカに限られます。

ヒトスジシマカは、普段の生活でもっともよく見かける蚊です。一般に、ヤブカと呼ばれ、体には白と黒の縞模様があり、その背中には、一筋の白い線が走っていて、これが名前の由来にもなっています。

関西地方であれば、年により多少のずれはありますが、4月から11月末頃まで見られ、植物の茂みに潜んで、半径10mほどの範囲に近づいてきた動物(主にヒト)を襲います。参考までに、グラフに、当所敷地内でのヒトスジシマカの捕獲数の季節変化を示します。平成27年5月から平成28年4月までの間、1週間毎に、4カ所で行った8分間ヒト囿法の結果です。

ヒトスジシマカは、雨水マスや古タイヤ、植木鉢の受け皿などの水たまりに卵を産み、孵化した幼虫は脱皮を繰り返し、サナギを経て、成虫になります。温度と日照条件にもよりますが、夏場であれば、10～14日ほどで、卵から成虫になります。

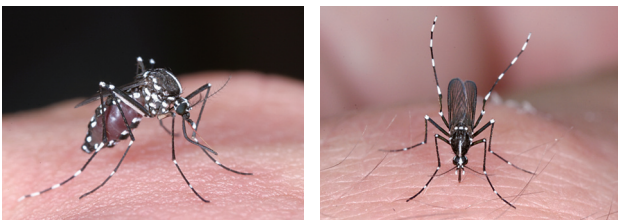


写真 ヒトスジシマカ
(写真提供 国立感染症研究所昆虫医科学部)

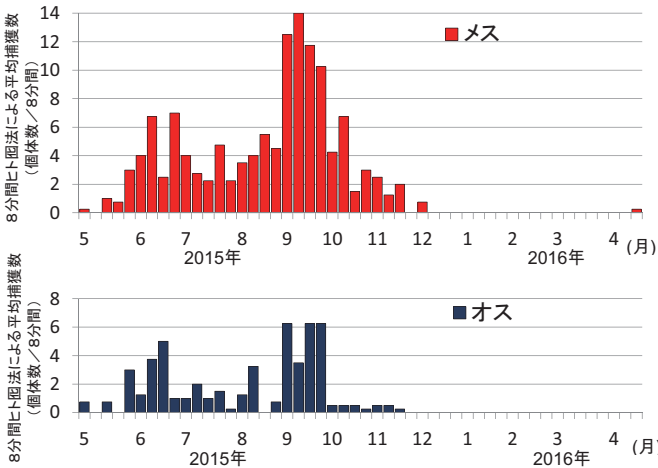


図 当所敷地内でのヒトスジシマカの捕獲数

ヒトスジシマカ対策のポイント

★発生源をなくす

蚊の発生数を減らすには、まず、幼虫の発生源をなくすことが大切です。家の周囲から水がたまりそうな容器をなくし、整理整頓を心がけてください。防火バケツや植木鉢の受け皿など、撤去ができず、水がたまってしまふ容器は、定期的に水を捨て、内壁をよく洗浄してください。



写真 プランターやジョウロなど、水がたまっている場所は、蚊の幼虫の発生源となります。

★刺されないようにする

網戸の設置や扉の開閉を減らすことで、蚊がヒトと一緒に屋内に侵入するのを防ぐことができます。もし屋内に侵入した場合には、捕殺するか殺虫剤を使用すると良いでしょう。蚊取り線香などの殺虫剤には、殺虫効果以外にも忌避効果や吸血を抑制する効果も期待できます。

屋外では、できる限り長袖長ズボンを着用し、首筋・手の甲・足首などの露出部分には忌避剤を使用するなどの対策をとってください。肌に直接塗るタイプの忌避剤は、蚊がごく近くまで接近しないと効果を発揮しないので、露出部分にムラなく塗ることが大切です。また、肌の表面をぬぐうことや雨や発汗の影響で、薬効は減衰するので、状況に応じて忌避剤を塗り直すことも必要です。

なお、ヒトスジシマカは、植物の茂みに潜んでいますので、そのような場所には近寄らないことも併せて大切になります。



写真 植物の茂みがあって、日中、日陰となるような場所に、ヒトスジシマカは潜んでいます。

(参考文献)

- 津田良夫. 蚊の観察と生態調査. 2013. 北隆館, 東京
- 今井長兵衛・前田理 (1976). ヒトスジシマカの卵の孵化に影響を及ぼす要因. 衛生動物, 27 (4): 367-372
- 国立感染症研究所. デング熱・チクングニア熱等蚊媒介感染症の対応・対策の手引き 地方公共団体向け (平成27年4月28日)

京都府保健環境研究所が新しくなります (その1)

京都府保健環境研究所は、昭和54年に建設されており、今年で築後37年を迎えます。

当所では、府民の健康の保持・増進と環境の保全を図るため、感染症や食中毒、食品、医薬品、様々な環境事象に関する試験検査、調査研究等を行っておりますが、建物が老朽化しているため建て替えが必要となってきました。

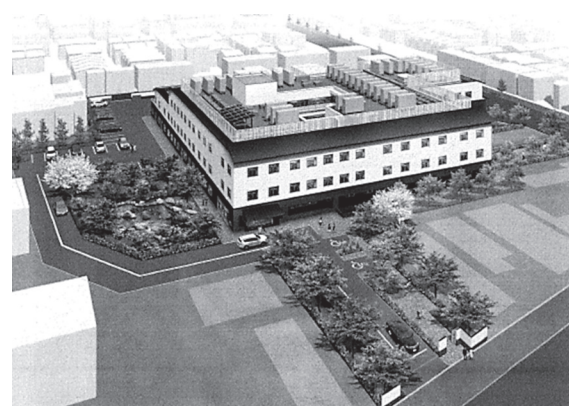
このため、京都府は、平成23年以降、当所と同様に建て替えの時期を迎えている京都市衛生環境研究所と共同で建て替えが出来ないか検討してきました。

その結果、平成26年に現在の京都府保健環境研究所の敷地内に新しい研究所を建設（府市合築）することが決まり、平成27年10月には基本設計に着手しました。新研究所は元京都府立医科大学附属病院附属伏見診療所を解体・撤去し、その跡地に建設します。また、現行の研究所は新研究所完成後に解体・撤去し、ビオトープと駐車場を整備する計画です。

平成28年度は、新研究所建設地周辺の家屋調査、元伏見診療所等の解体・撤去や埋蔵文化財調査を予定しています。



建設予定地（今は元伏見診療所が建っています）



イメージ図

編集発行 京都府保健環境研究所

発行日・平成28年6月

京都市伏見区村上町395(〒612-8369)

TEL(075)621-4067(庶務課)

621-4069(細菌・ウイルス課)

621-4167(理化学課)

621-4162(環境衛生課)

621-4163・4165(大気課)

621-4164(水質課)

FAX(075)612-3357

<http://www.pref.kyoto.jp/hokanken/>

E-mail:hokanken@pref.kyoto.lg.jp



〈交通機関〉京阪電車／伏見桃山駅下車 徒歩約10分
近鉄／桃山御陵前駅下車 徒歩約10分
市バス／西大手筋停留所下車徒歩約2分